

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372501169
事業所名	グループホーム第2グレイスフル春日井

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍以前は、地域行事や社協主催の地域の集い、作品展等、に積極的に参加し、地域との交流を図っていたが、今年度も変わらず自粛が続いている。定期的に訪問のあったレクリエーションボランティアの受け入れも中止している中、書道の先生が、毎月習字のお手本を送ってくれるお付き合いを継続している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	対面での会議開催を基本とし、年6回の会議を開催している。この1年では、コロナ感染状況を鑑み、内3回()を書面開催にしている。家族からの意見も活発で、にぎやかな意見交換の場として活用している。話し合った内容は職員と共有し、ホーム運営や支援内容に反映させている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	地域包括支援センターが、運営推進会議に毎回出席し、ホームの現状理解を進め、適切に連携している。今年度から、市の介護相談員の訪問が再開され、受け入れを行っている。市の担当部署とは、ホーム運営に係る相談・報告を通じ、助言・指導を運営に反映させて連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	運営推進会議開催時には複数の家族の出席があり、活発な意見表出の機会となっている。面会時にも個別に意見や提案を聞き取っている。昨今は、ホームのコロナ対策・対応への意見や提案が多くなっており、家族の心配に配慮した対応に努めている。面会方法の工夫、家族外出や居室入室の検討、密な情報提供等、運営の改善のきっかけとなる意見や提案は多い。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ禍においても、対面での会議開催を基本としている。この1年はコロナ感染状況を鑑み、内3回を書面開催としている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	4. 市町村との連携
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								